

II 特別シリーズ II

科学技術  
振興機構 『さくらサイエンスプラン』友情と感激

第177回

大阪医科大学の活動報告



植野高章  
(大阪医科大学  
口腔外科学教授)

ベトナムから医学部生ら招聘  
糖尿病合併症抑制と口腔ケア

昨年度に引き続き、ベトナム国家大学ハノイ校医学薬学部より教員2名と医学部6年生6名を招へいし、平成30年10月23～11月1日の日程で「糖尿病合併症抑制と口腔ケアプログラム」を実施しました。

ベトナムでは近年、生活習慣病の増加が大きな社会問題となつています。その中でも、糖尿病患者は非常に急速に増加しています。その原因としては、人々の食習慣およびライフスタイルが変化したことが大きな要因と考えられています。また、糖尿病に対する市民の認識不足も要因の一つです。そこで、今回のプログラムでは、糖尿病と歯周病の関係をメインテーマに、糖尿病の病態、合併症および予防について、さらには患者教育についての学びを深める内容にしました。具体的には、本学の産官学連携による研究「健康寿命をのばすたかつきモデル(以下、たかつきモデル)」



大槻学長(中央)との懇談

ル)」について、大学の講義を受け、附属病院での見学・実習、「たかつきモデル」の連携先を訪ねました。10月24日～10月26日には、本学医学部の複数の教室による我が国の糖尿病の現状と最新の研究の講

プログラム	
1日目	到着、ガイダンス
2日目	歓迎式、学長表敬訪問、講義I
3日目	病院実習I、講義II
4日目	高槻市長表敬訪問、病院実習II
5日目	バンドー神戸青少年科学館見学
6日目	学生交流
7日目	健康調査見学
8日目	サンスター 工場見学・研究発表
9日目	修了式
10日目	関西国際空港にてお別れ

義を受け、両国の糖尿病の違いや治療、そして口腔ケアが果たす役割について活発に意見交換を行いました。具体的には、糖尿病代謝・内分泌内科の今川教授より、我が国における糖尿病患者の実態および治療法について話して頂き、循環器内科の星賀教授より心筋梗塞や狭心症の患者の多くが糖尿病を合併している実態について話して頂きました。また、口腔外科の先生より、歯周病と糖尿病の関連についての最新研究について、歯科衛生士さんより大阪医科大学病院における糖尿病教室での口腔ケア指導について話して頂きました。本課題とは直接的な関連はありませんが、ベトナムでもロボット支援手術の導入が進んでいます。医学部が実習できる機会がないため、そこで泌尿器科の先生に協力して頂き、附属病院のダ・ヴィンチを実際に操作して模型を用いた手術実習のデモンストラーションやシミュレーションを体験しました。

「たかつきモデル」連携先を訪問

10月26日の午前中に、「たかつきモデル」の連携先である高槻市を訪問しました。濱田市長より本研究の高槻市民にとつての意義を直接ご説明頂くことが出来ました。週末を利用して、10月27日にはバンドー神戸青少年科学館を見学しました。10月29日は、公衆衛生学教室による「たかつきモデル」のコホート研究の講義や健康調



泌尿器科の先生によるダ・ヴィンチのシミュレーション体験



口腔外科の先生による全身疾患と歯周病についての講義



査の見学をとおして、健康寿命をのばすことの大きさについて学びました。

10月30日は、「たかつきモデル」の連携先である地元企業サンスターを訪問しました。口腔ケア製品の工場見学、健康道場での免疫力を高める食事の試食の後、糖尿病やがん治療に関する研究についての講演を聞き、口腔ケアの重要性について総合的な理解を深めました。

おります。

また、地域における健康増進を支える柱である行政、医療品開発で市民の健康を後押しする企業を訪問することで、高槻市における産官学連携「健康寿命をのばすたかつきモデル」を見ることができ、幅広く多方面から、日本の高齢者医療を肌で感じる事ができたと思います。この経験は母国で将来の医療を担う学生達にとって貴重な経験になったことでしょう。こうした経験こそがこのプログラムの真の成果であると言えます。

**プログラムの成果**

超高齢社会の日本では、高齢者が直面する生活習慣病予防に世界に先駆けて研究・診療を実施してきました。このプログラムでは、来日した学生達に、生活習慣病の一つである糖尿病と歯周病の関係についてそれぞれの分野のエキスパートによる講義・実習を受けてもらい、「短い期間のプログラムでしたが、大阪医科大学での講義や『たかつきモデル』の連携先での見学等を通して、日本の医療における臨床、教育、研究のすばらしさを実感した」とのコメントを得ており、本プログラムを通じて日本の医療における臨床、教育、研究について深く理解してもらえたと考えて

**今後の展望**

高齢化が急速に進むアジア諸国にとっては、NCD (Non-Communicable Disease) : 生活習慣病などの非感染性疾患)の予防は急務となっています。われわれは、医学生と医学部教員のアジア交流を「さくらサイエンスプラン」事業により実施し、両国の代表的なNCDである糖尿病対策や予防推進について学んでもらいました。そして多くの意見交換をすることができました。

**修了式**

日本では歯周病予防が糖尿病予防や治療に有効であること、を先進的に取り組んできた実績があります。今後はこの「さくらサイエンスプラン」事業を通じて、糖尿病だけでなく動脈硬化、認知症などのNCDと口腔健康の関係を高齢化が進むアジア諸国と展開させる発展型国際交流プログラムを構築したいと思えます。

**サンスター工場見学**

超高齢社会の日本では、高齢者が直面する生活習慣病予防に世界に先駆けて研究・診療を実施してきました。このプログラムでは、来日した学生達に、生活習慣病の一つである糖尿病と歯周病の関係についてそれぞれの分野のエキスパートによる講義・実習を受けてもらい、「短い期間のプログラムでしたが、大阪医科大学での講義や『たかつきモデル』の連携先での見学等を通して、日本の医療における臨床、教育、研究のすばらしさを実感した」とのコメントを得ており、本プログラムを通じて日本の医療における臨床、教育、研究について深く理解してもらえたと考えて